



平成30年3月30日

各位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 濱中 眞紀夫
(コード:3185 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田中 啓晴
(TEL. 072-761-9293)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社の平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の個別業績について、前期実績値との差異が開示基準に達する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期通期個別業績と前期実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) 平成29年3月期	百万円 2,379	百万円 △183	百万円 △184	円 銭 △34.84
当期実績見込み(B) 平成30年3月期	3,322	115	578	54.52
増減額(B-A)	943	298	762	—
増減率(%)	39.6	—	—	—

※本記載の当期実績は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※本記載の当期実績は、この開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが未実施です。

※本記載数値情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位切捨て小数点第1位まで記載しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、中核事業であるアパレル事業において、かねてより進めてきたブランドの再編に基づいたMD体制及び商品企画体制の強化や、販売面における販売上位の商品を集中的に訴求する戦略や、モールごとの各顧客層のニーズに対応した品揃えの展開を実施する戦略が奏功し、幅広い顧客層の獲得が実現し、また、親会社であるRIZAPグループ株式会社及びそのグループ会社のEC支援等を行うコンサルティング事業の拡大を進めた結果、前期実績を上回る見込みとなりました。

経常利益及び当期純利益に関しましても、アパレル事業における商品の仕入において、直接輸入の比率をさらに増やしたことによる原価率の改善、コンサルティング事業の拡大に加え、本日「特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表した連結子会社である株式会社トレセンテからの債権取立益による特別利益や、同じく本日「連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ」にて公表した連結子会社である夢新開発(香港)有限公司からの配当金受領もあり、前期の経常利益及び当期純利益を大幅に上回る見込みとなりました。

以上